LEAMAN

ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18 kg Y
15-25kg
E24
040093
GROUP 0,I,II

はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルド＆ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取り付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。

取扱説明書　保証書付

年少者用補助乗車装置　Group 0,I,II

商品名　カイナ

型式:1029A

注　意

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置 のメーカーか販売店にご相談ください。

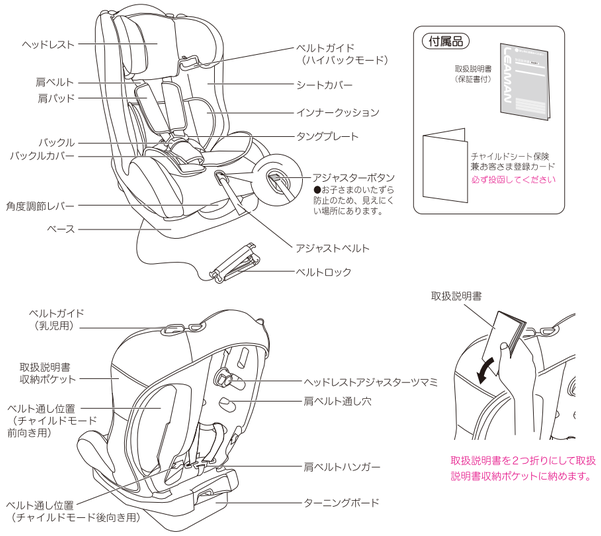
●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

⚠警告	記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
✕	図示されている内容の禁止を示しています。
Check	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し（本体側面の収納ポケット）、必要に応じてお読みください。

11211-10321-A

1. 各部の名称



2. お子さまの適用条件

⚠警告　お子さまの体重が９kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。
⚠警告　前部座席での後向き使用の際、運転のさまたげになる場合（サイドミラーが見えなくなる等）は、ご使用をおやめください。

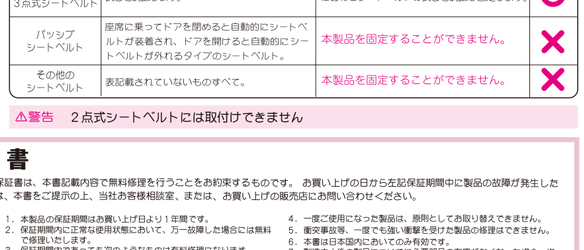
体重 / 身長のめやす / 年齢のめやす	チャイルドモード		ハイバックモード
	～10kg未満 ～75cmまで 新生児～12ヶ月頃まで	9kg～18kg以下 70cm～100cmまで 12ヶ月頃～4才頃まで	15kg～25kg以下 98cm～120cmまで 3才頃-7才頃まで
取付方向	後向き	前向き	前向き
取付具 インナークッション		～10kg未満 / 10kg～	
取付具 肩パッド			
その他			お子さまを座らせたとき、後頭部がヘッドレストの上から出ないこと。

⚠警告　新生児から６ヶ月頃まではお子さまの負担を考え、１時間以上連続して使用しないでください。

アドバイス　安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。
また、エアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

3. 取り付けできない座席

⚠警告　車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



- ３点式シートベルト で上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルト（ 座席に座るとドアの開閉によって、自動的に 脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けた本製品が安定しません）
- 本製品を取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一のとき乗員の安全が確保できません）
- その他、本製品を固定できない座席。

4. 取付可能な車両シートベルト

本製品は車両が３点式／巻取装置なし／巻取装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。本製品を正しく安全に使用するために、お客さまの車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。
- 車両シートベルトの種類　（○：取り付け可能　×：取り付け不可）

	巻取装置有り							巻取装置無し
	ＥＬＲ付		ＡＬＲ付		ＮＬＲ付		パッシブ	
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
３点式	○	×	○	○	○	○	×	○

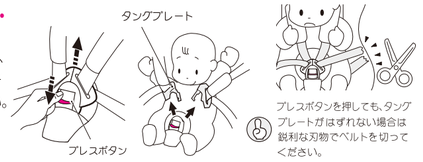
	特　徴	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR・ALR付 3点式シートベルト（チャイルドシート固定機構付ベルト巻取装置）	通常はELRベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すとALR機能に切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまうシートベルトです。また、ベルト全量戻したときにはELR機能に戻ります。	本製品を ベルトロックでしっかり固定してから、シートベルトを全部引き出しALR機能に切り換えてください。 ⚠注意 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書もお確かめください。	○
ALR付 3点式シートベルト（自動ロック式ベルト巻取装置）	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	本製品を固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、本製品をベルトロックでしっかりと固定してください。	○
ELR付 3点式シートベルト（緊急ロック式ベルト巻取装置）	通常は、ベルトが自由に出入りし、衝撃（急ブレーキなど）を感知したときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトを ベルト ロックでしっかりと固定してください。	○
NLR付 3点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせシートベルトの長さを調節し固定します。	○
パッシブ シートベルト	座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	本製品を固定することができません。	✕
その他の シートベルト	表記載されていないものすべて。	本製品を固定することができません。	✕

⚠警告　２点式シートベルトには取付けできません

5. 必ずお読みください

緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず 速やかにお子さまを救出してください。



プレスボタンを押しても、タングプレートがはずれない場合は 脱利な刃物でベルトを切ってください。

⚠警告　＊記載内容を守らないと、生命の危険 または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品を車両に取付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。
- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 本製品のバックルをはずしたままでのご使用は危険ですので絶対におやめください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- 本製品を助手席に取り付けたとき本製品とシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。
- 後部座席に人が乗る場合の２ドア・３ドア車の助手席や、１ＢＯＸ車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

- 保護者が各部分に離れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。
- お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタングプレートがバックルからはずれて いないことを確認してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けた製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- 運転中に 本製品の操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。
- 本製品を改造したり、カバー類・ウレタンなどは 取りはずして使用しないでください。
- 新生児（生後１ヶ月未満）にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
また、お子さまの負担を考え１時間以上連続して使用しないでください。

⚠注意　＊ 記載内容を守らないと傷害または 事故に つながるおそれがあります。

- お子様を乗せる際には、本製品の取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。
また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。
（確認は停車し、安全な状態で行ってください）
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取りはずしはおやめください。
- お子さまが 本製品の上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。
また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 本製品を取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。

- 車両シートベルト及び本製品のベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
- 本製品は車両以外でのご使用をあやめください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないように本製品を取り付けてください。

アドバイス　＊より安全、快適にご使用していただく上で知って おいていただきたいこと。

- 後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けると車両シートベルトが邪魔になりません。
（右/ハンドルで助手席側からの乗せ降ろし時）
＊車道側からの乗せ降ろしは危険ですので、歩道側から行ってください。

後向き使用　前向き使用

車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。
本製品と車両シートが 接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

本製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少用補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、必ず細心の注意をはらい、事故が発生しないように心がけてください。

6. お手入れの仕方

洗濯方法

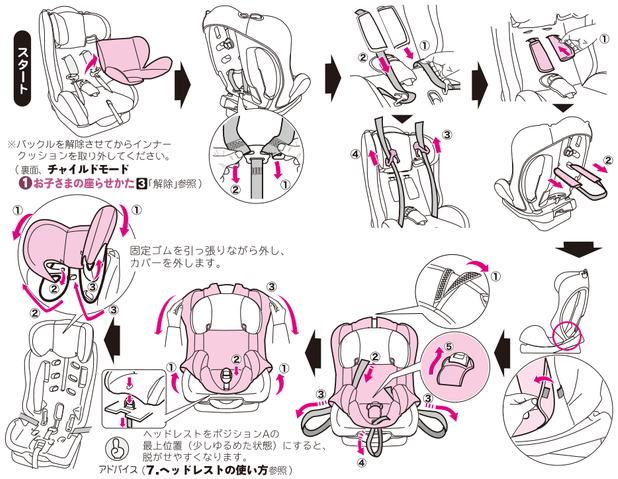
- 肩パッド・シートカバー・バックルカバー・インナークッションは、中性洗剤を使用して水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。

日常のお手入れ方法

⚠警告
中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

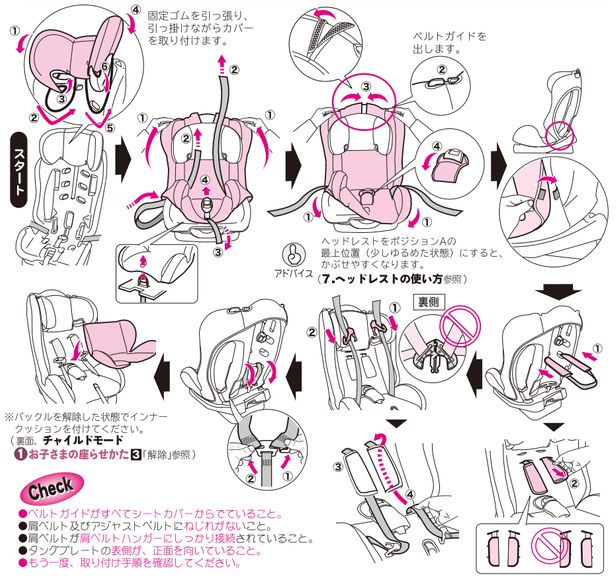
- 樹脂部は水または、から拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

シートカバーの取りはずし方



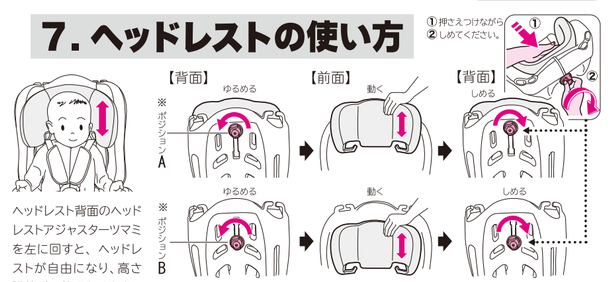
シートカバーの取り付け方

⚠警告　専用カバー以外は使用しないでください。
⚠警告　カバー類は必ず取り付けて使用してください。



Check
- ベルト ガイドがすべてシートカバーからでていること。
- 肩ベルト及びアジャストベルトにねじれがないこと。
- 肩ベルトが肩ベルトハンガーにしっかり接続されていること。
- タングプレートの表側が、正面を向いていること。
- もう一度、取り付け手順を確認してください。

7. ヘッドレストの使い方



ヘッドレスト背面のヘッドレストアジャスターツマミを左に回すと、ヘッドレストが自由になり、高さ調整が可能になります。
右に回すと高さを固定することができます。

※固定する位置は｢A｣｢B｣の2ポジションありますので、お子さまの頭の高さにあわせやすい位置で微調整してください。

⚠注意　操作時、指はさみに注意してください。

保　証　書

LEAMAN チャイルド&ジュニアシート

保証期間	お買い上げ日より１年間（ただし保証規定による）		
商品名		シリアルNo.	（本体シールをご覧ください）
お買い上げ日　年　月　日		販売店	住所（〒　）
お客様	ご住所（〒　） お名前 TEL		店名 TEL

●お買い上げ後、商品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。

保証規定

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記保証期間中に製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社お客様相談室、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1. 本製品の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
2. 保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
3. 保証期間内であっても次のようなものは有料修理になります。
・落下等の衝撃による樹脂部品の破損。
・シートカバー等、縫製部品の傷や紙れ。
・お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
・本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
・本書のご提示がない場合。
・一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
・有料修理の場合に要する運賃等の諸経費。
4. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
5. 衝突事故等、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

リーマン株式会社　〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原68-1
お客様相談室 TEL.(0567)27-0173 受付時間 月曜日～金曜日(祝日・弊社指定休日は除きます) AM10:00～12:00 PM1:00～5:00

※製品には万全を期してありますが、万一不都合な点がございましたら左記宛へご連絡ください。
※製品性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

操作方法

⚠警告　操作は、かならず停車中におこなってください。

お子様の体重：～18kg以下

チャイルドモード

お子さまの座らせ方

⚠警告　お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きお子さまを拘束してください。
⚠警告　バックル部分は異物が詰まったり飲み物がかかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
⚠警告　腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。

1 アジャストーボタンを押しながら肩ベルトを引き出します。

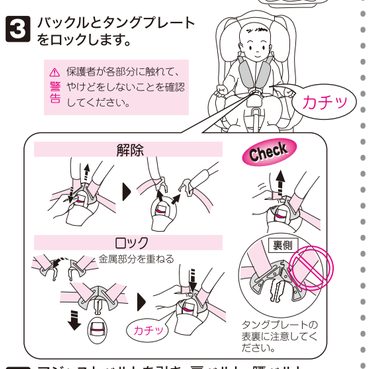
●お子さまのいたずら防止のため、アジャストーボタンは見えにくい場所にあります。
●アジャストーボタンは、奥側を確実に押してください。

2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナークッションにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。

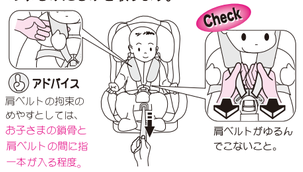
⚠警告　かさばる衣服を着せたまま、乗せないでください。

3 バックルとタングプレートをロックします。

⚠警告　保護者が各部分に触れて、やけどをしないことを確認してください。



4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



1 車に取り付ける前に

肩ベルト高さ確認

◎お子さまを座らせ肩ベルトの高さを決めます。

後向き取付け時

⚠警告　肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さか、やや低めの肩ベルト通し穴を使用してください。

前向き取付け時

⚠警告　肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さか、やや高めの肩ベルト通し穴を使用してください。

肩ベルトの高さがお子さまの肩より低すぎたり高すぎたりしないことを確認してください。

⚠注意　かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。
⚠注意　肩ベルトおよび、アジャストベルトはねじれないように、肩ベルトハンガーに取り付けてください。

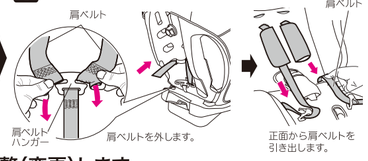
肩ベルトの高さが合っていれば 2 へお進みください。

注）工場出荷時には肩ベルトの高さは最下位にセットしてあります。

肩ベルト高さ調節の仕方

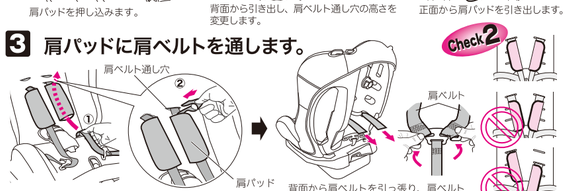
肩ベルトの高さが合っていなければ調節してください。
アジャストーボタンをおしながら、肩ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。
（**チャイルドモード 1 お子さまの座らせかた** 1 参照）

1 肩ベルトを抜き取ります。



2 肩パッドの高さを調整(変更)します。

3 肩パッドに肩ベルトを通します。



⚠警告
肩ベルト高さを変更する際、底面のアジャストベルトが、パーツにまたがらないようにセットしてください。
（底面を確認してください）

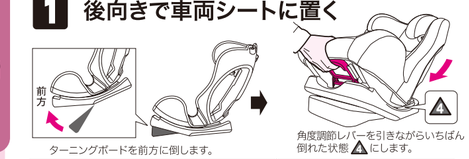
体重：～10kg未満
～75 cmまで
新生児～12ヶ月頃まで

後向き取付け

Check 取付具

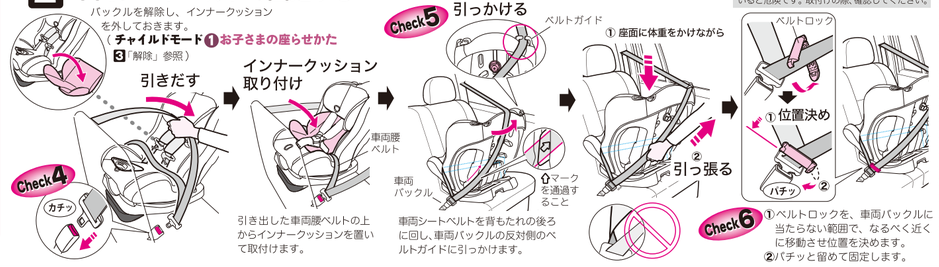
2 車への取り付け

1 後向きで車両シートに置く



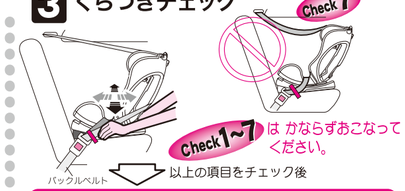
注）ターニングボードが後方にある状態から、⚠にセットすることはできません。

2 車両シートベルトで固定する



ベルトロック取付け
注）ベルトロックのひもが他部品に引っかかっていると危険です。取付けの際、確認してください。

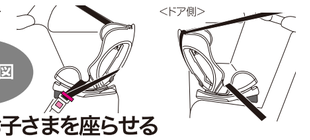
3 ぐらつきチェック



●ぐらつきチェックで、腰ベルト付近のベース部を前後左右にゆすり、約３cm以上ぐらつく場合はもう一度取り付け手順の 1 ～ 2 の順序で、取り付けをやり直してください。（**4.取付可能な車両シートベルト** 参照）

⚠警告　●車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。
※ご不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。

完成図



4 お子さまを座らせる

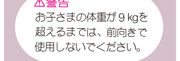
（**チャイルドモード 1 お子さまの座らせかた** 1 ～ 4 参照）

体重：9~18kg以下
70cm～100cmまで
12ヶ月頃～４才頃まで

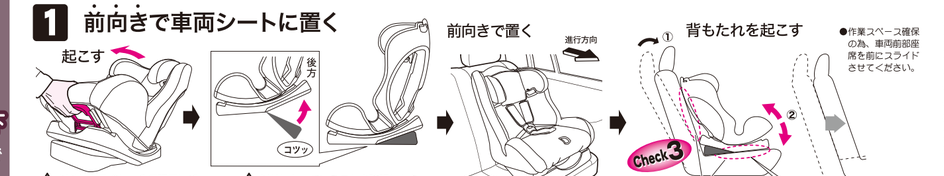
前向き取付け

⚠警告　お子さまの体重が９kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

Check 取付具

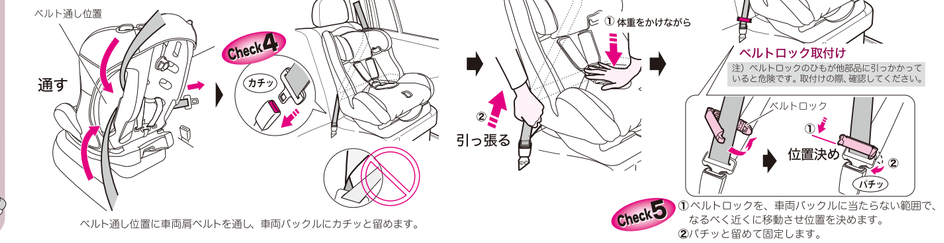


1 前向きで車両シートに置く



注）⚠の状態で、ターニングボードが後方にある場合は角度調節レバーの操作ができません。

2 車両シートベルトで固定する

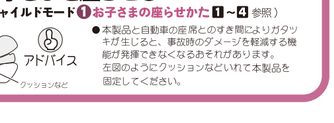


3 ぐらつきチェック

●ぐらつきチェックで、腰ベルト付近のベース部を前後左右にゆすり、約３cm以上ぐらつく場合はもう一度取り付け手順の 1 ～ 2 の順序で、取り付けをやり直してください。（**4.取付可能な車両シートベルト** 参照）

⚠警告　●車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。
※ご不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。

完成図



4 お子さまを座らせる

（**チャイルドモード 1 お子さまの座らせかた** 1 ～ 4 参照）

● 本製品と自動車の座席とのすき間により子タッキが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。左図のようにクッションなどいれて本製品を固定してください。

お子様の体重：１５～２５kg以下

ハイバックモード

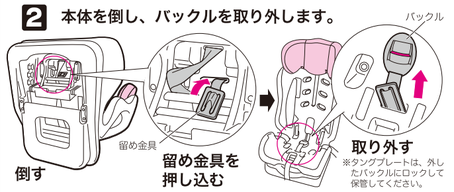
1 車に取り付ける前に

ハイバックモードへの変更

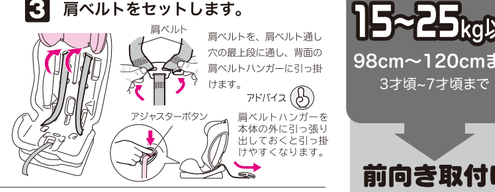
チャイルドモードからハイバックモードに変更する場合。

1 シートカバーを取り外します。ヘッドレストカバーだけ付けておきます。
（**6.お手入れの仕方**「シートカバーの取りはずし方」参照）

2 本体を倒し、バックルを取り外します。



3 肩ベルトをセットします。



4 シートカバーを被せます

（**6.お手入れの仕方**「シートカバーの取り付け方」参照）

5 ベルトロックを取り付けて完了

体重：15~25kg以下
98cm～120cmまで
3才頃~7才頃まで

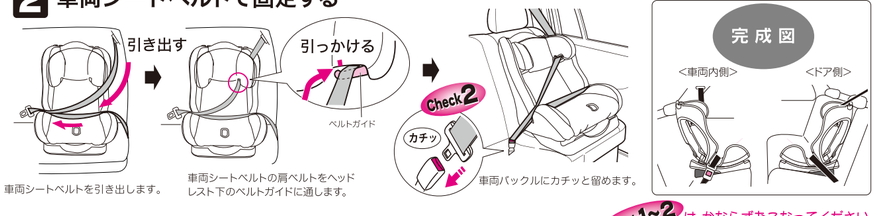
前向き取付け

Check 取付具

2 車への取り付け

1 前向きで車両シートに置く

2 車両シートベルトで固定する



3 お子さまを座らせる

⚠注意　このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れない様にしてください。
⚠警告　車両シートベルト（腰側）は腰骨のできるだけ低い位置にかかるよう調節して、腰部に密着させてください。

お子さまを着座させ、車両シートベルトをバックルに確実にロックします。

4 ベルトガイド高さ調節

ヘッドレストを上下にスライドさせ、車両シートベルトが、お子さまの首にかからないように調整してください。
（**7.ヘッドレストの使い方** 参照。）

ベルトガイドの正しい位置

ベルトガイドを肩と同じ高さか、やや高めの位置になるように調節する。

✕ 低すぎる　○ 肩と同じか、やや高め　✕ 高すぎる

⚠警告
●ベルトガイドの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせた高さに調節してください。

Check
- 本体が、車両座席の背もたれに密着していること。
- お子さまが 本体 に深く腰掛けていること。
- 車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの肩にしっかり掛かっていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- バックルが確実に接続されていること。